

羽越・奥羽新幹線を活用した地域ビジョン 構成

【ビジョン策定にあたっての考え方】

- ◆新幹線整備により実現を目指す地域発展の将来展望、政策展開の視点について、既存新幹線の発現効果を踏まえつつ、【観光】【産業・経済】【暮らし・生活】【都市機能・防災】の各分野で整理
- ◆新型コロナウイルスの感染拡大により再認識された地域価値や働き方・暮らし方等の変化も踏まえ(※)、羽越・奥羽新幹線が、アフターコロナにおける分散型社会の形成に必要な基盤となることを整理

※下線部

【構成】

第1：時代の潮流と沿線地域を取り巻く環境の変化

- 急速な人口減少の進展と東京圏への一極集中
 - 急速な人口減少と少子化の進行
 - 依然として継続する東京圏への人口集中
- 成長するアジア経済を背景とした旺盛な海外活力とインバウンドの増加
- 技術革新の進展と経済のグローバル化
- 価値観の多様化や新たな働き方・暮らし方への関心の高まり
- リニア中央新幹線開通に伴う巨大経済圏域（スーパー・メガリージョン）の形成
- 気候変動の影響等による災害の頻発化・激甚化
- 新型コロナウイルスがもたらした価値転換の兆し
 - 地域資源の再認識、安全・安心な観光ニーズの高まり
 - 産業の国内回帰・分散化に向けた動き
 - 新たな働き方、暮らし方の加速化
 - 資源偏在・東京一極集中リスクの再認識

関係6県の現状と求められる対応

- 【共通】人口減少の影響の緩和・抑制に向けた対応
- 【観光】国内外からの交流活力の取込みの必要性
- 【産業・経済】【暮らし・生活】地域における雇用創出と若者を中心とした定着・回帰
- 【都市機能・防災】都市機能の維持と都市間連携の推進
- 【防災・国土形成】ミッシングリンクの解消等

第2：新幹線整備による効果と今後の新幹線整備に求められる視点

(1) 関係6県における既存の整備新幹線（東北・上越・北陸新幹線）による地域への効果の整理

- | | | | |
|---|---|---|--|
| <観光分野>
◆交流人口の拡大
◆観光入込客数、インバウンド増加 | <産業・経済分野>
◆企業立地・本社機能移転促進
◆地元企業の活動活発化 | <暮らし・生活分野>
◆移住・定住、二地域居住の促進
◆生活利便性の向上
◆通勤・通学圏の拡大 | <都市機能・防災・その他>
◆都市の拠点性向上
◆リダンダンシー機能の確保
◆安全・安心な移動手段の確保
◆地域を担う人づくり・地域づくり |
|---|---|---|--|

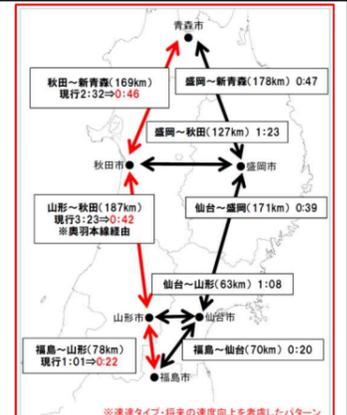
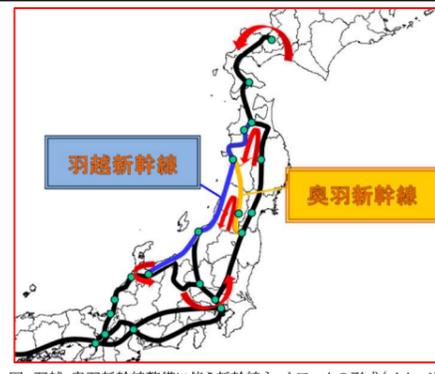
(2) これからの新幹線整備に求められる視点の整理

- 政府における新幹線整備効果の視点（リニア中央新幹線）
 - フェイス・トゥ・フェイスコミュニケーションが生み出す新たなイノベーション
 - 時間と場所からの解放による新たなビジネススタイル・ライフスタイル
 - 海外からの人や投資の積極的な呼び込み
 - 災害リスクへの対応
- 全国知事会等において求める新幹線ネットワークの必要性
 - 政府が推進する「地方創生回廊」の実現に寄与
 - 「首都圏エリア」や「太平洋ベルト」と同様の「多様性のある大交流圏」の形成
- 新型コロナウイルスがもたらした価値転換の兆しへの対応
 - <地域資源の再認識、安全・安心な観光ニーズの高まり>
 - マイクロツーリズムなどの新たな旅行ニーズへの対応
 - <産業の国内回帰・分散化に向けた動き>
 - 供給体制の国内回帰・分散化、新たな働き方への対応
 - <新たな働き方、暮らし方の加速化>
 - 地方への新たな人の流れの取込みへの対応
 - <資源偏在・東京一極集中リスクの再認識>
 - 地域の持続可能性の確保、分散型の社会経済構造の構築

第3：地域発展の将来展望と実現の基盤となる羽越・奥羽新幹線

(1) 羽越・奥羽新幹線整備により見込まれる効果

- <移動時間短縮等に伴う交流活発化>
- <移動確実性の向上>
- <広域周遊が可能な新幹線ネットワークの実現>
- <移動条件の変化がもたらす地域振興等の効果>



(2) 羽越・奥羽新幹線により実現を目指す地域発展の将来展望と政策展開の視点

- | | |
|---|---|
| <観光分野>
国内外の活力が行き交う循環・周遊型の交流圏域の実現
> 特長ある伝統・文化、豊かな地域資源、多彩な交流基盤を強みに、国内外との交流を加速 | <産業・経済分野>
交流拡大により多様なイノベーションが生み出される自律型の経済圏域の実現
> 高い技術と豊かな自然を強みに、地域と国土の発展を支える高付加価値型の産業を形成 |
| <暮らし・生活分野>
都市と地方の共創・共助による持続可能で活力ある地域社会の実現
> 安全・安心で豊かな自然・社会環境を強みに、新たなビジネス・ライフスタイルを発信・提案 | <都市機能・防災分野>
地域の暮らしを支え、我が国の持続的な発展に資する、活力ある重層的な圏域の実現
> 都市と周辺部、都市同士がつながり、新たな魅力や活力を生む、連携・交流によるまちづくり・圏域づくりを推進 |

第4：羽越・奥羽新幹線が国土形成に果たす役割

大規模災害時のリダンダンシー機能

集中型から分散型ネットワークへの転換

新たな“広域交流圏”の形成

“羽”越、奥“羽”新幹線は、日本海国土軸の形成を支え、日本全体を飛躍させる“ダブルウイング”